



JForest 森林組合綱領

— 私たち森林組合のめざすもの —

私たち森林組合は、地域の森林管理主体として、地域の森林を協同の力で育て守り続け、森林環境保全と林業発展を通じて、地球温暖化防止へ貢献するとともに、水源の保全、国土の安全、健全な森林環境と良質の木材を国民へ提供しながら、健康で安心、豊かな住生活を支えていくことを使命とします。

私たち森林組合の組合員・役職員は、こうした使命を自覚し、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主・自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、平和とより民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、私たち森林組合の組合員・役職員は、次のことを宣誓し、責任を持って行動します。

- 一、森林(もり)の恵みに感謝し、地球環境保全のため、豊かな森林(もり)を未来に引き継ごう。
- 一、森林(もり)を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
- 一、JForest森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。
- 一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
- 一、協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追おう。

※この綱領は森林組合系統の基本的立場・理念・活動方針・政策の基本となるものです。

本所 〒895-1811 薩摩郡さつま町虎居5222番地1
TEL:0996-53-0116 FAX:0996-52-2869

川内支所 〒895-0031 薩摩川内市勝目町4074番地4
TEL:0996-25-1118 FAX:0996-25-1243

出水支所 〒899-0217 出水市平和町1437番地
TEL:0996-63-2321 FAX:0996-63-2322

長島支所 〒899-1401 出水郡長島町鷹巣2306番地
TEL:0996-86-0028 FAX:0996-86-2028

北薩木材流通センター 〒895-2104 薩摩郡さつま町柏原3275番地
TEL:0996-54-2920 FAX:0996-54-2977

北薩木材加工センター 〒899-0217 出水市平和町1464番地
TEL:0996-63-2321 FAX:0996-63-2322



北薩森林組合便り

北薩森林組合がめざすところ
～組織の使命と役割を果たすために～

発行日 2019年11月1日 発行所 北薩森林組合・鹿児島県薩摩郡さつま町虎居5222番地1

第11回通常総代会を開催しました



北薩森林組合は、8月28日、薩摩川内市国際交流センターで第11回通常総代会を開催し、全総代数200名のうち180名(うち書面議決権行使者91名)が出席しました。

組合長のあいさつの後、来賓の方々の祝辞をいただきました。

議長に選任された薩摩川内市の別府俊明組合員の議事進行により、平成30年度の業務報告書や、令和元年度

事業計画書の承認など9つの議案が上程され、提出された全議案について原案どおり承認・可決されました。また、欠員となっていた役員(理事)の補欠選任では、さつま町の満尾千治さんが選任されました。

業務報告書によると、平成30年度の事業総利益は181,861千円。当期剰余金6,488千円を計上。令和元年度は、事業総利益198,998千円、当期剰余金8,294千円を計画しています。



貸借対照表

令和元年6月30日現在(単位:円)

流動資産		流動負債	
1 現金	843,678	1 買掛金	12,018,257
2 預金	233,460,341	2 未払金	34,298,201
3 売掛金	33,499,402	3 未払法人税等	776,500
4 棚卸資産	19,043,605	4 前受金	10,418,302
5 未完成事業費	18,291,900	5 預り金	35,355,271
6 前払費用	15,000	6 未払消費税	14,870,009
7 未収金	17,623,074	計	107,736,540
8 仮払金	18,952,625	1 長期借入金	72,180,000
9 立替金	71,977	2 退職給付引当金	13,641,823
10 雑資産	2,691,630	3 所有林評価損引	12,296,277
計	344,493,232	4 森林造成引当金	5,000,000
		計	103,118,100
固定資産		純資産	
1 有形固定資産	269,996,392	1 出資金	283,521,000
2 外部出費その他資産	59,627,680	2 法定準備金	110,035,614
		3 任意積立金	33,000,000
		4 当期剰余金	6,488,721
計	329,624,072	5 前期繰越剰余金	5,619,437
		6 資本準備金	25,077,892
繰延資産	480,000	計	463,742,664
資産合計	674,597,304	負債合計	674,597,304

損益計算書

平成30年7月1日～令和元年6月30日まで(単位:円)

科目	小計	合計
I 事業総損益		
1 事業総収益	809,102,806	
2 事業総費用	627,241,117	
事業総利益		181,861,689
II 事業損益		
1 人件費	127,034,243	
2 旅費交通費	664,909	
3 事務費	3,175,726	
4 業務費	2,463,911	
5 諸税負担金	4,988,534	
6 施設費	33,185,156	
7 雑費	1,662,852	
事業管理費計		173,175,331
事業損益		8,686,358
III 経常損益		
1 事業外収益	23,820,311	
2 事業外費用	19,644,195	
事業外損益		4,176,116
経常損益		12,862,474
IV 特別損益		
1 特別利益	27,233,747	
2 特別損失	32,831,000	
特別損益		△5,597,253
税引前当期利益		7,265,221
法人税、住民税及び事業税		776,500
当期剰余金		6,488,721
前期繰越剰余金		5,619,437
当期末処分剰余金		12,108,158

部門別損益計算書

(単位:円)

部門	収入	費用	損益
指導	0	761,458	△761,458
販売	389,993,195	335,807,664	54,185,531
加工	27,609,605	21,614,636	5,994,969
森林整備	391,500,006	269,057,359	122,442,647
合計	809,102,806	627,241,117	181,861,689

平成30年度 剰余金処分

(単位:円)

科目	積算内訳	小計	合計
I 当期末処分剰余金			12,108,158
II 剰余金処分類			
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	2,000,000	
2 任意積立金		5,000,000	
III 繰越剰余金			5,108,158



I. 北薩森林組合の概要



北薩森林組合は、平成20年7月1日に、旧薩摩西部・薩摩東部・鹿児島いづみ・長島地区の4組合が合併して11年目を迎え、薩摩川内市・阿久根市・出水市・長島町・さつま町の3市2町をエリアとする組合員数10,513名(平成30年度末現在)、払込出資金額283,521千円(同)の組合です。

さつま町虎居に本所を置き、薩摩川内市・出水市・長島町に支所を配置。さつま町に北薩木材流通センター、出水支所に北薩木材加工センターを設置運営しています。

北薩地域の森林面積は、総土地面積156,727haの65.3%にあたる102,278haです。内、国有林が19,829ha、民有林82,449haで民有林率は80.6%です。民有林のうち人工林が42,900haで人工林率は52.0%です。人工林のうち29.5%の11,838haが除間伐対象林であり、今後とも適切な森林管理が求められています。

平成31年4月から新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」が始まりました。適切な経営管理が行われていない森林を集約するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ります。

森林組合は市町の委託を受けて森林の調査をしたり、林業経営者としての役割を担うことが求められています。

北薩森林組合は、森林組合綱領を遵守しながら、「伐って、使って、植えて、育てて」という森林資源の循環利用の確立と適切な森林管理を促進することによって、組合員や地域社会の要請・信頼に応えられる森林組合を目指します。



II. 実現に向けた実施方策

1. 効率的かつ安定的な林業経営による組合員の経済的利益向上を目指します。

※組合員の所有林を軸として、施業の集約化と先進的な技術の活用等に取り組むことによって造林・木材生産コストの低減を進め、組合員の所得向上に向けて、持続かつ効率的な事業展開を目指します。

1 施業の集約化の推進

- ①木材の安定供給を進める手段として、「森林経営計画」の作成等による施業の集約化をすすめ、組合員の所有林から効率的・計画的に木材を生産し、利益還元を目指します。
- ②施業の集約化を組織的に推進する体制を構築するために、「森林施業プランナー」を養成して、施業の集約化や森林整備の提案をします。
- ③森林環境譲与税を活用して、市町村等と連携して公有林を含めた施業の集約化や林道整備、森林所有者による管理が行われなくなった森林を森林組合が管理主体となって管理できる体制をつくります。

2 生産性向上と低コスト林業の推進

- ①生産性の向上と低コスト林業を推進するため、路網の整備を促進します。
- ②高性能林業機械の活用による効率的な作業システムを構築します。

3 再造林の実施

- ①持続可能な循環型林業を推進するため補助事業等を活用した伐採跡地の再造林や、下刈等育成対策を行います。



2. 木材の安定供給体制を構築します。

※戦後造成された森林資源は利用期を迎えつつあり、木材加工施設や木質バイオマス発電施設の稼働、木材の輸出等により需要は順調に伸びています。森林組合では、安定・計画的に需要に応えられる木材供給体制をつくります。

1 販路の拡大

- ①北薩木材流通センターで、情報の収集・分析を行い、需要に対応した戦略的・計画的な生産・販売に取り組み、より有利な販路を開拓します。
- ②「かごつま材輸出推進協議会」を通じて輸出材を計画的に供給します。
- ③システムのスケールメリットを生かした原木安定供給体制を構築して、系統販売等により有利な販売先を模索します。

2 素材生産体制の整備

- ①直営作業班の確保・育成対策を強化します。

3. 組合員・社会に信頼される開かれた組織づくりを進めます。

※森林組合は、組合員のための組織であることを再認識して組合員の経済的利益の向上を追求することを主眼においた事業を展開するとともに、開かれた組織として経営の透明性を確保します。

1 人材育成・確保対策

- ①組合員からの信頼の獲得、事業の継続性の確保のために、研修体系や、業務に必要な資格取得支援体制の構築により人材の育成に努めます。

2 職場環境改善・労働安全の確保

- ①働きやすい働きがいのある職場づくりを目指して、労働災害防止対策の強化などにより、良好な労働環境の整備を進めます。
- ②法令等遵守態勢を強化して、職場内のハラスメントや、不適正事案の未然防止に努めます。



3 組合員サービス・広報活動

- ①ホームページの開設や、広報誌を発行し、組合の事業内容や経営内容、地域社会貢献活動等について広く組合員に対してPRを行います。
- ②組合員サービス向上のために、森林施業に関する相談や、組合活動に対する意見・要望など組合員のニーズの把握に努めます。
- ③地域で開催される産業祭・イベントに積極的に参加して、森林・林業に関する情報提供のPRに努めます。

集約化施業のすすめ… 【森林整備事業】



取り扱い補助事業について

間伐等を実施する場合には、国や県の補助制度があります。間伐等の補助金を受ける場合、山林が「森林経営計画」に記載されていなければ補助事業対象とはなりませんので、森林経営委託契約をされたのち間伐等の作業を進めていきます。

森林環境保全直接支援事業

- ①人口造林 スギ、ヒノキ、広葉樹(クヌギ等)
※面積が0.1ha以上、ha2000本植え以上が対象となります。

- ②附帯施設等整備(鳥獣害防止施設等整備) シカ侵入防止ネット柵設置等
※人口造林と組み合わせて実施する事業です。

- ③下刈(1年生～5年生)
※平均樹高3mを越える場合は5年生以下であっても対象になりませんので、ご注意ください。

- ④保育除間伐 (60年生以下)
※対象は、除伐(25年生以下)・保育間伐(35年生以下)です。

- ⑤間伐搬出 (60年生以下)
※作業前に事前計画書が必要でまた予算額に上限があります。

- ⑥森林作業道開設(幅員2.5m～3.0m 敷き砂利ナシ)
※⑤の間伐搬出作業と一体的に実施します。

※全ての事業では現地調査後、見積りを作成し、承諾をいただいてからの作業となります。

お願い

上記補助事業で作業を実施した場合、事業完了年度の翌年度から5年間(事業によっては10年間)は、森林以外の用途への転用、立木の全面伐採を行うことはできません(補助金返還になります)のでご注意ください。
また、森林の伐採をしようとする場合は、事前に市町村又は北薩地域振興局林務水産課において、補助事業の履歴を確認していただき、伐採届の提出をお願い致します。

高性能林業機械を新しく導入しました

森林組合では、生産性の向上と低コスト林業を進めるために、本年3月、出水支所管内に高性能林業機械2台を新しく導入しました。

●ハーベスタ (伐倒造材機)

【伐倒・枝払い・玉切り・集積作業】
・従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。皆伐、間伐に活躍している。

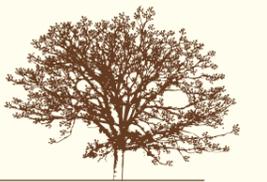


●スイングヤーダ (旋回ブーム式タワー付き集材機)

【簡易な移動式タワー付き集材機】
・主索を用いない簡易索張方式に対応し、かつ作業中に旋回可能なブームを装備する集材機。建設用ベースマシンに集材用ウインチを搭載し、アームをタワーとして使用します



北薩木材流通センター情報



秋季特別市開催



北薩木材流通センターでは、10月15日に、秋季特別市を開催しました。スギ1,900m³(内優良材100m³)ヒノキ800m³(内森林管理署材270m³)、広葉樹50m³の出荷を頂きました。

スギは、優良材長さ6m・直径46cmが30,000円。長さ4mの直径30cm以上が13,000～15,000円。ヒノキは森林管理署をはじめ、一般

用材も多く出荷して頂いたこともあって、長さ4mの直径16～18cmの直材が16,000円と高値で取引されました。

当日は、県内外の購買者が多数参加され、出品材は完売いたしました。次回は初市で優良材の集荷を行います。

相場表

長さ(m)	直径(cm)	スギ	ヒノキ
		立方メートル価格(円)	立方メートル価格(円)
3	6～13	7,700～8,900	7,300～9,100
	14～18	9,600～12,800	9,000～12,700
	20～22	9,900～13,500	9,600～13,000
	24～28	10,000～13,900	9,600～13,000
	30以上	9,400～13,900	10,000～14,500
4	6～13	8,500～11,300	7,800～9,000
	14～18	8,900～11,300	11,500～16,300
	20～22	10,000～13,800	11,200～16,000
	24～28	10,500～14,500	11,700～16,900
	30以上	10,000～15,000	11,500～16,500
売上平均価格		9,100	9,700

薪・木工製品を 製造販売しています!

北薩木材加工センター

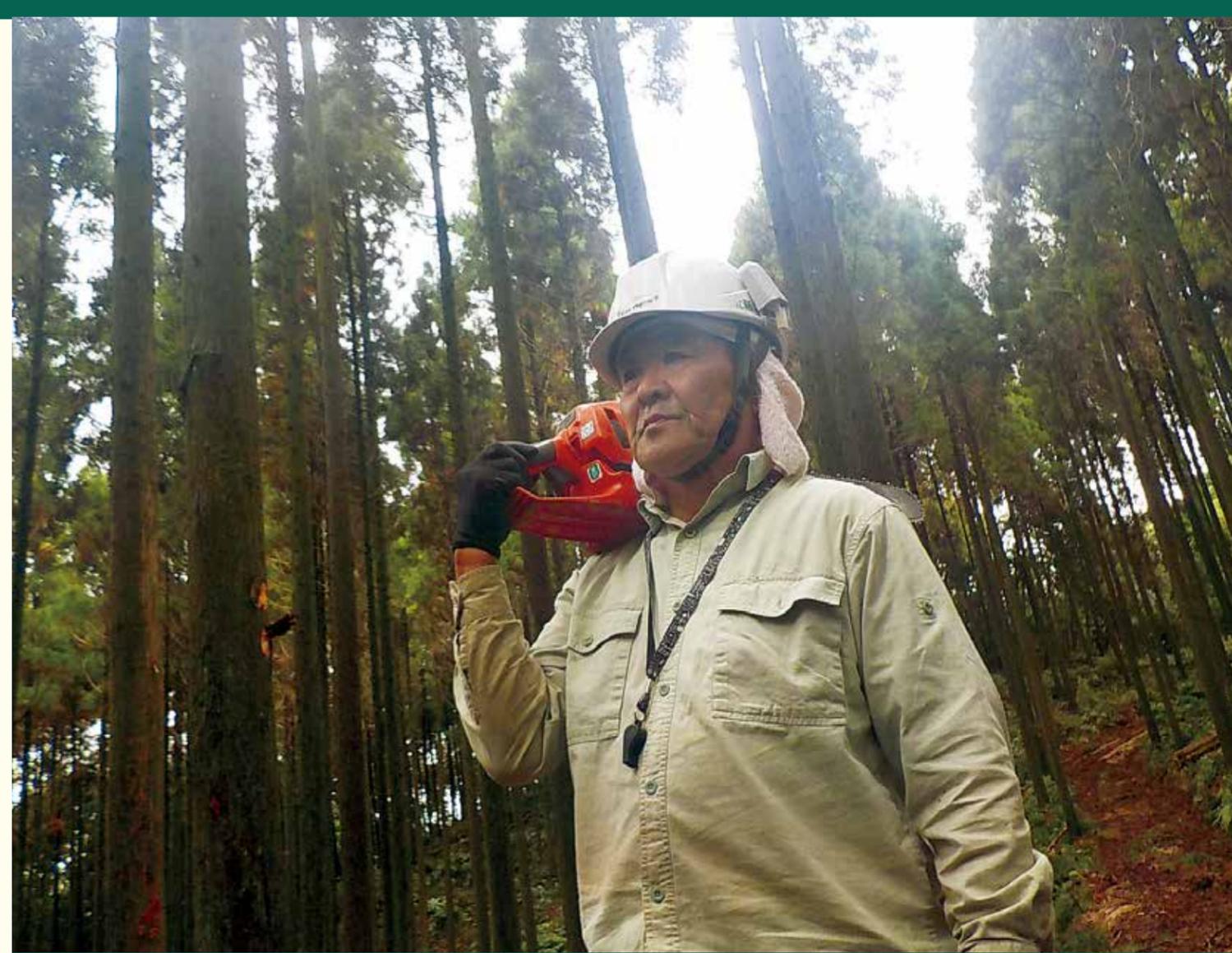
北薩木材加工センターでは、主に農業・園芸用・DIY資材として円柱加工した杭や丸太等のほか、最近では燃料用資材として薪や、花壇等の除草低減を図れるチップなどさまざまな製品を製造販売しています。構内に木製品展示販売所も設けています。一点物ですが木製ベンチや小物などもあります。お気軽にお立ち寄り下さい。

主な取扱い製品の紹介

製品名	径級(直径)	長さ	参考価格(税抜)	活用例	備考
背丸太	5cm~20cm	400cmまで	径級8cm 長さ300cm 610円	DIY・ 緑化資材など	主にスギ (ヒノキ)
杭 木	5cm~20cm	400cmまで	径級6cm 長さ200cm 290円	畑杭・ 緑化資材など	主にスギ (ヒノキ)
広葉樹薪	7cm~15cm	40cm程度	1束 350円~500円	薪ストーブ・ キャンプ使用など	広葉樹
チップ	—	—	軽トラック荷台 約16,800円	花壇等の草の 抑制等	主にスギ



出水市平和町 1464 番地 / Tel.0996-63-2321 / 北薩木材加工センター



北薩森林組合では林業技術者を募集しています!

元気で林業に興味のある方!

地元の方・Uターン者・Jターン者・Iターン者歓迎!

応募資格

- ・健康な方(経験不問)
- ・年齢50歳以下(定年は65歳)
- ・要普通自動車免許(AT限定可)

業務内容

- ・スギやヒノキ等の植付や下草払い
- ・木材伐採・搬出作業

資格等

- ・業務に必要な資格は入職後組合負担で取得できます。
- ・チェーンソーなど必要な道具は森林組合が貸与します。

お問い合わせ

本所 総務課 (担当:福寄まで) TEL/0996-53-0116